

企業や組織において  
「クラウドを活かせる」人材を育成

# Cloud Essentials

## Get Up To Speed with Cloud Essentials Certification



ビジネスと運用上の両方の観点から  
クラウドの意義やメリット/デメリットを理解し  
運用できるスキルと知識を証明します

CompTIA Cloud Essentialsは、クラウドコンピューティングの主な原理や概念について知識を持ち、ビジネス、または技術的側面から見たクラウドコンピューティングの意義やクラウドの導入によるメリット/デメリットを判断し運用できる知識とスキルを証明するワールドワイドで提供されているベンダーニュートラルな認定資格です。

### クラウドへの基本的な理解

CompTIA Cloud Essentials認定資格は、クラウドコンピューティングの特徴や意義、利用メリットなどに関する基本的な理解度を証明するものです。また、クラウドを導入する際のビジネスおよび技術上の概念、メリットを理解していることが証明されます。

### 他者との差別化/競争力

理想の仕事を手に入れる可能性が広がります。採用担当マネージャの86%が、評価プロセス時にIT認定資格を重視すると述べています。<sup>1</sup>

### グローバルな認知

Cloud Essentials認定資格を取得することは、国際的に認知されたベンダーニュートラルな資格保有者としての信用につながります。この認定資格では、クラウド実装の合理化、スタッフ共通言語の作成、および様々なレベルのビジネスプロフェッショナルの生産性を向上するために必要なスキルが評価されます。

### 仕事に対する満足度

CompTIA認定資格を保有するITプロフェッショナルのうち76%が、自分の仕事に満足していると回答しています。<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 出典: Employer Perceptions of IT training and Certifications January 2011

<sup>2</sup> 出典: CompTIA 2nd Annual IT Career Insight



### “業界の業界による 業界のための資格”

CompTIA認定資格は、試験作成委員会が中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

### CompTIA Cloud Essentials SME

- 海外/一部抜粋
  - ECPI University
  - Concerto Networks
  - Norfolk State University
  - DCH Health System
  - BION
  - VION
  - HealthTrack Sports Wellness
  - Netwave Corp
- 日本（50音順）
  - NTTデータジェトロニクス株式会社
  - 株式会社クリエイトラボ
  - 日本アイ・ビー・エム株式会社
  - 富士ゼロックス東京株式会社
  - 株式会社ラック

## IT Staff: From Troubleshooters to Innovators



クラウドコンピューティングへの移行を進める中で、企業は、既存のITスタッフの人材育成の見直しや、新しいITスタッフの雇用など、IT部門の再構築を進めています。

CompTIAの調査では、参加企業の1/3にあたる企業が、人材の見直しを実施していると回答しています。また、企業におけるIT部門は、企業内外を問わずソリューションを提供する部門としての役割が求められ始めています。



CompTIA Cloud Essentials認定資格は、  
次のような職種の方におすすめです

- ビジネスアナリストおよび業務プロセスオーナー
- マネージドサービスプロバイダー
- データセンターのスタッフ
- クラウド製品またはサービスのセールススタッフ

CompTIA Cloud Essentials認定資格試験には、特にビジネス面におけるクラウドコンピューティングの意義や、クラウドへの移行や管理に関するスキルを証明する**多肢選択式の問題**が出題されます。

## 主な出題範囲

出題項目	出題比率
<b>第1章 ビジネスの観点から見たクラウドサービスの特徴</b>	<b>15%</b>
1.1 クラウドコンピューティングの一般的な用語と定義を理解し、その用例を挙げることができる。 1.2 クラウドコンピューティングと仮想化の関係について説明することができる。 1.3 クラウドコンピューティングの早期の例を挙げることができる。 1.4 クラウドコンピューティングの一般的な定義のいくつかと、それらの共通点・相違点を理解できる。 1.5 クラウドコンピューティングのメリットを受ける組織を見きわめられる。 1.6 クラウドコンピューティングのメリットを受けない組織を見きわめられる。 1.7 XaaS、IaaS、PaaSを含めたクラウドの種類を区別し、それぞれの例を挙げることができる。	
<b>第2章 クラウドコンピューティング導入によるビジネスへのインパクト</b>	<b>20%</b>
2.1 クラウドコンピューティングとアウトソーシングの類似点と相違点を識別することができる。 2.2 クラウドとクラウドサービスについて、ビジネスの観点から以下の特徴を理解できる。 2.3 クラウドコンピューティングの特徴がビジネス上の価値をいかに増強するかを例示することができる。	
<b>第3章 技術的観点から見たクラウドのタイプ</b>	<b>20%</b>
3.1 プライベートクラウドとパブリッククラウドの違いを技術的な観点から理解し、その例を挙げることができる。 3.2 クラウドコンピューティングの配備に必要な技術と手法について、以下の事項を高次のレベルで理解できる。 3.3 クラウドコンピューティングにおける技術的な課題やリスクと、それらを低減して以下の目標を達成する方法を説明することができる。 3.4 クラウドコンピューティングがアプリケーションアーキテクチャとアプリケーション開発プロセスにもたらす影響について説明することができる。	
<b>第4章 クラウドコンピューティング導入を成功に導くためのステップ</b>	<b>15%</b>
4.1 クラウドコンピューティングサービス導入の成功をもたらす一般的なステップを説明することができる。 4.2 クラウドコンピューティングベンダーの役割および能力と、ベンダー各社への依存性について理解できる。 4.3 クラウドのメリットを実現する際に求められる、以下のような組織的機能について理解できる。	
<b>第5章 クラウドコンピューティング導入によるITサービスマネジメントへの影響と変化</b>	<b>15%</b>
5.1 一般的な組織においてクラウドコンピューティングがITサービスマネジメントにもたらす影響と変化について理解できる。 5.2 ITILに基づく構造的なアプローチを用いて、自社におけるクラウドコンピューティングの影響の可能性を探ることができる。	
<b>第6章 クラウドコンピューティングのリスクと影響</b>	<b>15%</b>
6.1 コンプライアンスリスクと規制に関する既存の枠組みにクラウドコンピューティングを統合する際の問題点を特定して説明することができる。 6.2 直接経費と原価配分に対する関わりを説明することができる。 6.3 戦略上の柔軟性をどのように維持するかを理解できる。	

## 試験実施概要

試験番号	問題数	制限時間	合格ライン
CLO-001	50問	60分	100~900のスコア形式720以上

認定資格の詳細情報は、下記Webサイトをご覧ください:

[http://www.comptia.jp/cont\\_certif\\_cloudessentials\\_cl0-001.html](http://www.comptia.jp/cont_certif_cloudessentials_cl0-001.html)